

テハ、日本帝國主義ノ貫徹計畫ガミジメナ失敗ニ終ル可能性ノアルコトヲ示シテキル。カ、ル諸條件ノ下ニアツテ日本共産黨ハコノ上ナク責任アル役割ヲ帯ビテキル。今後ノ事件ノ進行並ビニ革命運動ノ今後ノ發展ハ、共産黨ノ力ト堅固サニ、幾百万ノ勤勞大衆ヲソノスローガシノ下ニ結集シ、コレヲ大衆ノ闘争ノ先頭ニ立ツ黨ノ能力ニ、大イニ且ツ決定的ニ依存スルデアラウ。ソレ故ニ、日本共産黨ノ思想並ビニ組織的鞏固化ノ問題ハ、第一義的ナ意義ヲ得テキル。現在ノ情勢ハ日本共産黨ガ、今日ニ至ルマデ著シク弱イ勞働者、農民、ソノ他ノ勤勞者層ノ廣汎ナ大衆ト黨トノ結合ヲ、全力ヲ盡シテ擴大シ鞏固化スルコトヲ絶對ノ必要タラシメテキル。タトヒ如何ナル犠牲ヲ要スルトモ黨ハ大衆ノ昂マリ行ク活動性ニ對スルソノ立遅レヲ一掃シ、確心ヲ以テ來ルベキ革命ニ立チ向ヒ得ル眞ノ大衆的黨トナラネバナラヌ。

二、當面セル革命ノ性質

五、日本共産黨ハ、國內ニ於ケル階級力ノ關係並ビニ日本ニ於テ當面

スル革命ノ本質ト任務ニ關シテ正シイ、明確ナ思想ヲ持タネバナラヌ黨ハコレヲノ樞軸の問題ニ關シテ黨ノ列伍内ニアル誤レル思想ヲ改メネバナラヌ。當面ノ時期ニ於ケル國內階級力ノ關係、日本ニ於ケル來ルベキ革命ノ性質ト任務ハ、封建制ノ異常ニ強大ナ諸要素ト獨占資本主義ノ著シク進メ發展トノ組合セデアルトコロノ、日本ノ支配體制ノ特殊性ヲ顧慮シ分析セズシテハ正當ニ評價シ得ナイ。

(一) 日本ニ於ケル具体的情勢ニ評價スルニ當ツテ必ず出發點トセネバナラヌ第一ノモノハ○●●ノ性質ト比重デアアル。

一八六八年以後ニ日本ニ成立シタ絶對○●●制ハ、ソレノ政策ニハ幾多ノ變化ガアツタニモ拘ラズ、絶對權ヲ掌中ニ保チ、勤勞階級ニ對スル抑壓ト專横支配トノ爲ノソノ官僚機構ヲ不斷ニ完成シテ來タ。日本ノ○●●制ハ一方主トシテハ地主ナル寄生的・封建的階級ニ依據シ、他方ニハ又急速ニ富ミツ、アル余餘ナブルジョアジニニ依據シテ、コレヲ階級ノ上部ト極メテ緊密ナ永續的プロウクヲ結ビ、可成リノ柔軟性